

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成24年11月8日 (2012.11.8)

【公開番号】特開2012-7930(P2012-7930A)

【公開日】平成24年1月12日 (2012.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2012-002

【出願番号】特願2010-142452(P2010-142452)

【国際特許分類】

G 0 1 N 21/64 (2006.01)

G 0 1 N 30/74 (2006.01)

G 0 1 J 3/443 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 21/64 Z

G 0 1 N 30/74 F

G 0 1 J 3/443

【手続補正書】

【提出日】平成24年9月21日 (2012.9.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光源と、

試料セルと、

前記光源からの光を分光し、所望の波長の光を前記試料セルに照射する励起側分光系と

、

前記励起側分光系から前記試料セルに入射し、該試料セルを透過した透過光の光路上から外れた位置に配置された、前記試料セルからの出射光を分光する出射側分光系と、

前記出射側分光系からの出射光のうち前記励起側分光系から前記試料セルに照射された光と同一波長の出射光を検出可能な光検出器と、

を有する蛍光分光光度計。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の蛍光分光光度計において、

前記励起側分光系と前記出射側分光系の設定波長を同一に維持しつつ所定の波長範囲で連続的に変化させる制御手段と、

前記励起側分光系及び前記出射側分光系の設定波長ごとの前記光検出器の検出結果から、スペクトルデータを取得するスペクトルデータ取得手段を備えることを特徴とする蛍光分光光度計。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の蛍光分光光度計と分離カラムとを備え、

前記分離カラムで分離された試料を移動相とともに前記試料セルに流し、

前記スペクトルデータ取得手段は、設定波長毎のスペクトルの時間変化データを取得することを特徴とする液体クロマトグラフ装置。

【請求項 4】

光源と、

試料セルと、

前記光源からの光を分光し、所望の波長の光を前記試料セルに照射する励起側分光系と、
前記励起側分光系から前記試料セルに入射し、該試料セルを透過した透過光の光路上から外れた位置に配置された、前記試料セルからの出射光を分光する出射側分光系と、
前記出射側分光系からの出射光を検出可能な光検出器と、
を備える蛍光分光光度計において励起波長を検出する方法であって、
前記励起側分光系と前記出射側分光系の設定波長を同一に維持しつつ所定の波長範囲で連続的に変化させ、
前記励起側分光系及び前記出射側分光系の設定波長ごとの前記光検出器の検出結果から、スペクトルデータを取得し、
取得された前記スペクトルデータから試料の励起波長を検出する方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

上記課題を解決するために成された本発明の第一の態様に係る蛍光分光光度計は、
光源と、
試料セルと、
前記光源からの光を分光し、所望の波長の光を前記試料セルに照射する励起側分光系と、
前記励起側分光系から前記試料セルに入射し、該試料セルを透過した透過光の光路上から外れた位置に配置された、前記試料セルからの出射光を分光する出射側分光系と、
前記出射側分光系からの出射光のうち前記励起側分光系から前記試料セルに照射された光と同一波長の出射光を検出可能である光検出器と、
を有することを特徴とする。